

# 令和2年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 1項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策6 国民健康保険、後期高齢者医療の適正運用

【会計】一般会計

施策3 保健事業を推進します

3款:民生費 1項:社会福祉費 1目:社会福祉総務費

事業	72	後期高齢者人間ドック助成事業
担当所属		健康保険課

## 【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
5,500千円	980千円				4,520千円

## 【事業の概要】

事業の概要	医療費の上昇を抑制するために、疾病の早期発見・早期治療に向け、人間ドック(短期人間ドック・脳ドック)受検費用の一部助成を行います。
事業の目的	後期高齢者医療被保険者の健康管理及び増進の一助とするとともに、医療費適正化の推進に資することを目的とします。
事業の効果	人間ドック助成事業を動機に受診者が増加し、それにより適切な健康管理や疾病の早期発見・早期治療等が期待されます。 また、健康への意識が高められることにより、疾病予防等による医療費削減効果が期待できます。

## 【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
19 負担金補助及び交付金		
後期高齢者人間ドック助成金	5,500千円	
計	5,500千円	

## 【活動指標・成果指標】

指標名	令和2年度計画値
後期高齢者人間ドック助成利用者数(総数)	550人
後期高齢者人間ドック助成利用者数(短期人間ドック分)	410人
後期高齢者人間ドック助成利用者数(脳ドック分)	140人
人間ドック助成利用率(利用者数/後期被保険者数平均値)	2.00%